

FOOD フードドライブ DRIVE



◇受付期間
令和4年 9月1日～30日
(土日・祝日、休館日を除く)

◇受付場所
1.千代田町役場 建設環境課
2.KAKINUMA アクア

【フードドライブとは】

食品ロスを減らすことを目的に、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体などに寄付する活動です。

○回収できる食品○

賞味期限・消費期限が令和4年11月1日以降のもの

- ・お米 ・お菓子 ・カップ麺 ・乾麺
- ・調味料 ・ジュースなどの飲料 ・食用油
- ・レトルト食品 ・缶詰めなど保存食品
- ・その他常温保存可能なもの



×回収できない食品×

- ・賞味期限、消費期限が切れている食品
- ・開封済み ・破損アリ ・冷凍冷蔵食品
- ・保存状態が悪い米 など



生ごみ減量方法いろいろ

回 覧

建設環境課

家庭から出る可燃ごみの約 3 割が生ごみです。

生ごみの約 80%は水分です。生ごみを減らすことは、ごみの重量が減少するほか、ごみの燃焼効率にもつながります。

いろいろな生ごみの減量方法があるので
自分に適した方法で挑戦してみてね。



1. 食品ロスをなくす

日本では、年間 570 万トンもの食品ロスが発生しており、これを 1 人当たりに換算すると、毎日おにぎり約 1~2 個分の食べ物を捨てていることになります。

- ①必要な食材を必要な分だけ買う
- ②買った食材を残さず使う・残さず食べる
- ③余った食品をフードドライブに出す⇒裏面をご覧ください

2. 出ってしまった生ごみは

生ごみは、多くの水分を含んでいます。水を切るだけでごみの減量につながる他、悪臭などの予防にもなります。また、堆肥を作ることでも減量することもできます。

①手絞りや水切り器を使う

手絞りや水切り器で約 7%の減量となります。

- ・水切りグッズを活用することで手を汚さず水切りすることもできます。



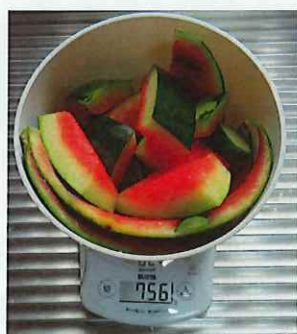
②生ごみ処理機の利用（堆肥、乾燥）

コンポスターで堆肥を作り生ごみの排出量を減らす。

生ごみ処理機（電気式、コンポスター）の補助金があるよ。

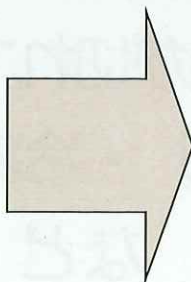


生ごみ処理機（電気式）で乾燥させると約 88%もの減量となります。



756 g

生ごみ処理機で乾燥



87 g